



大海原をみんなで越えよう ～第39回カヌー長島海峡横断大会～

島原・天草・長島の三原架橋構想の機運を高めることが目的の第39回カヌー長島海峡横断大会が8月10日にあり、本町のほか、天城町、与論町、長崎県南島原市の児童生徒合計55人が参加しました。

牛深港で行われた開会式では、川添町長らが激励の言葉を述べた後、脇田新大君（蔵之元小6年）が一練習の成果を十分に発揮し、気持ちをひとつに全員で最後まで漕ぎ切る」と元氣よく宣誓しました。

午前11時40分、スタートの号砲と同時に選手たちは牛深港を元氣よく出発しました。

中盤の戸島付近では、進行方向に対して、横からの急速な潮流で選手たちは体力を消耗。流れに逆らい、懸命にパドルを漕ぐ選手たちは、互いに声を掛け合いながら、果敢にこの難所を通過し、約3時間かけて全員がゴールの蔵之元艇庫に到着し、海峡横断の成功を収めました。

瀬ノ口琉聖君（城川内小5年）は「2回目の参加で、潮の流れが早くおどろいたが、ギリギリ耐えることができた。とても楽しかった」と達成したよるこびを話しました。



元氣よく宣誓する脇田さん



急流に逆らいパドルを漕ぐ選手ら



互いに励まし合い海峡を越えて行く